

# 平成29年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

⑦課題:アズキ茎疫病菌のレース分布解明と検定法の改良(27~29年度)

代表者:上川農業試験場研究部 研究主任 藤根 統

## 目的

アズキ茎疫病のレース分布を明らかにするとともに、レース毎の特性解明を行いつつ、簡易で安定したレース検定方法を確立する。

## 成果

### ①北海道内のアズキ茎疫病菌のレース分布調査

- ・北海道内に分布するアズキ茎疫病に関して110菌株の検定を行ったところ、96菌株が既知のレース1~5のいずれかに判定された。
- ・12菌株が既知レースとは異なる3種類の病原性の菌株と判定され、2菌株は病原性を示さずレースを決定できなかった。

### ②レース検定のための接種方法の改良

- ・従来の検定法に変わる検定法として土壌灌注法を検討したが、新たな検定法としては不適切との結論に至った。

## 平成29年のレース検定結果

振興局	供試 菌株数 <sup>*1</sup>	レース					新菌系 <sup>*2</sup>			レース 未決定 <sup>*3</sup>
		1	2	3	4	5	A	B	C	
空知	8	4			3			1		
石狩	10	3		1	4		1	1		
後志	4			3	1					
胆振	1	1								
檜山	2			2						
上川	44	4		20	15	1		1	1	2
留萌	12	6		3	1			1	1	
十勝	29	13		9	1	1	1	1	3	
合計	110	31	0	38	25	2	2	5	5	2

\*1: 再検定1菌株・前年度にレース2と3を判別していない1菌株を含む

\*2: レース1~5とは病原性の異なるもの。これらの菌株は、抵抗性の無い品種に加え、Aはレース1,3抵抗性、Bはレース1,3,4抵抗性、Cはレース1,2,4抵抗性の判別品種に病原性を有する。

\*3: 検定試験で発病せずレースを決定できなかった